一般財団法人 家電製品協会
Association for Electric Home Appliances

2021 年6月4日

月刊 AEHA通信　2021 年6月号

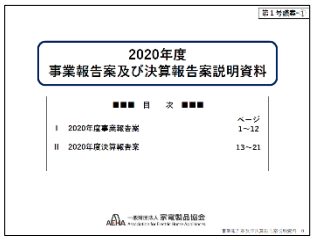
◆◆◆ 今月の主な内容 ◆◆◆

◇トピックス ： 第 18 回理事会の開催等
◇主な委員会活動等 ： 第2回省エネルギー対策委員会等
◇協会インフォメーション ： 今後の行事予定等
◇定点観測データ ： 家電リサイクル法対象4品目引取実績等
◇溜池ボイス ： モノを大切にする心

■□■ トピックス ■□■

◆第 18 回理事会の開催（６月３日）

６月３日（木）に柵山理事長出席のもと、第 18 回理事会を Web 会議にて開催しました。冒頭、来賓の経済産業省情報産業課西川課長にご挨拶をいただいた後、伊藤専務理事より 2020 年度事業報告及び決算報告に関する審議等を行い、以下の議案が原案通り、承認可決されました。



●議案審議
第1号議案　2020 年度事業報告及び決算報告の承認について
第2号議案　公益目的支出計画実施報告書等の提出について
第3号議案　指定法人 2020 年度事業報告書及び収支決算書の提出について
第4号議案　評議員候補者の承認について
第5号議案　役員（理事）候補者の承認について
第6号議案　第 17 回評議員会の招集について
報告事項1　今後の行事予定について

柵山理事長（左）、伊藤専務理事

経産省・西川課長（モニター）

◆第 35 回運営委員会の開催（５月 19 日）

５月 19 日に第 35 回運営委員会を Web 会議にて開催しました。冒頭、来賓の経済産業省商務情報政策局情報産業課の村上課長補佐からご挨拶をいただいた後、伊藤専務理事より、６月開催の理事会並びに評議員会等の関連資料についての説明を行いました。その後、各部門長より近況の業務活動報告を行いました。

◆「スマートマスターがいるお店・オフィス」ニュースリリース（６月１日）

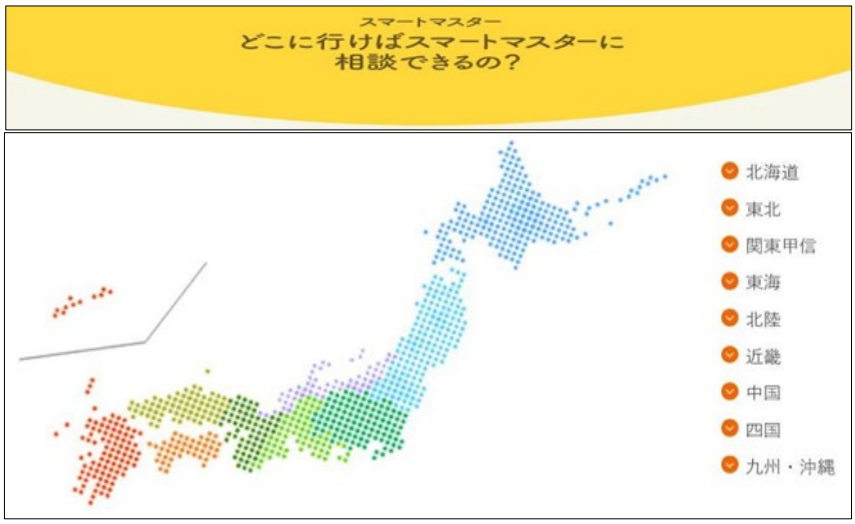
2021 年3月に実施したCBT（Computer Based Testing）方式による資格認定試験の結果、5月1日付にて、新たに 323 名の「スマートマスター」が誕生しました。これでスマートマスターの資格保有者数は計 7,903 名となり、全国 47 都道府県の 1,152 箇所の店舗・オフィスにて消費者の皆様の「住まい」と「暮らし」のスマート化を支援する体制がさらに充実しました。昨今の感染症によるニュー・ノーマルの暮らしと、温暖化による再生可能エネルギーの活用が求められている今、消費者の立場に立って「住まいと暮らしのアップグレード」をお手伝いするスマートマスターが脚光を浴びています。

また、「スマートマスターがいるお店・オフィス」は、認定センターホームページで、都道府県別に公開しています。 https://www.aeha.or.jp/nintei-center/consumer/smartmaster/consulting/

スマートハウスに関することはもちろん、「先進のリフォーム」、IoTやAIなどの革新的技術と家電等による「暮らしのサポート」などに関するご相談も、ぜひ、お近くのスマートマスターをお訪ねください。

なお、「スマートマスター」を保有されていて、「スマートマスターがいるお店・オフィス」の登録が済んでいない方がおられましたら、下記URLより登録申請をお願いいたします。

https://www.aeha.or.jp/nintei-center/qualifier/procedure/smartmaster_system/



■□■主な委員会活動等■□■

＜家電業務部関連＞

◆第2回 省エネルギー対策委員会（5月 25 日）

2021 年度第2回の省エネルギー対策委員会をWeb会議により、開催いたしました。
主な議題は以下のとおりです。

1. 前回議事メモ案の確認
2. 総合資源エネルギー調査会・省エネルギー・新エネルギー分科会・省エネルギー小委員会及び傘下のワーキンググループにおける審議内容の確認
3. 省エネ家電温暖化防止啓発WG等の活動報告
4. エコプロ 2021 について

○第2回 省エネ家電温暖化防止啓発WG（5月 17 日）

2021 年度第2回の省エネ家電温暖化防止啓発WGをWeb会議により、開催いたしました。
主な議題は以下のとおりです。

1. 前回議事メモ案の確認
2. 2021 年度4月アクセス状況の確認
3. 2021 年度期中更新の検討

◆製品安全委員会

本委員会は、製品ライフサイクル全般にわたる製品安全確保の取り組み、個社では解決の難しい共通課題についての調査・研究、並びに施策の実施を目的として活動を行っています。

○電気用品、ガス用品等製品のＩｏＴ化等による安全確保の在り方に関するガイドライン説明会（５月 25 日）

経産省製品安全課より上記ガイドラインが4月に発行されたことを受けて、製品安全委員会委員各社の関係部門、関連業界団体向けの説明会（Web）を実施しました。当日は各社の企画・設計・品質管理等、様々な部門から 166 名の方が参加され、ガイドライン要求事項への具体的対応に関して強い関心が寄せられました。今後、参加企業からの意見も踏まえて、技術法規 WG にて実運用における課題を抽出・検討し、製品安全課への意見具申を行っていく予定です。

◆ＵＤ技術委員会

本委員会では、UD関連のJIS、ISO原案作成委員会に委員を派遣し、業界意見の反映を図っています。
また、UD関連に取り組む関係機関との意見交換を通じて政策の動向把握と課題発掘に努めています。

○ＵＤ技術委員会事前会議（５月 28 日）

1. 家製協ガイド「ICT機器連携に関するアクセシビリテイ配慮事項」について
2. JIS S 0013「高齢者・障害者配慮設計指針 －消費生活製品の報知音」改正について
3. 第2回委員会議事次第と進め方について

◆消費者啓発委員会

本委員会では、近年の消費者関連の法令や制度の改正・拡充に対応し、行政、消費生活センター、消費者団体との交流を一層深めることで、消費者問題に対する業界の積極的な取り組み姿勢をPRしています。

○第１回消費者啓発委員会（５月 18 日）

1. 2020 年度事業計画実績について
2. 2021 年度事業計画について
3. 製品安全ページへのアクセス状況について
4. PLセンター2020 年度活動報告

◆第 347 回 流通EDI標準化推進委員会（5月 19 日）

2021 年度第 347 回の流通EDI標準化推進委員会を Web会議により、開催いたしました。
主な議題は以下のとおりです。

1. 前回委員会議事録（案）確認
2. 啓発・PR関連及び商品情報検討WG活動報告
3. ISDN終了に伴う調査依頼に関する再検討

＜環境部関連＞

◆家電リサイクル委員会

○第8回 2020 年度版家電リサイクル年次報告書作成WG（５月 27 日）

主な議題は以下のとおりです。

1. 2020 年度版「家電リサイクル年次報告書」掲載内容の確認
2. チェック分担について
3. 印刷部数について
4. スケジュール・その他

○第2回 2021 年度普及広報WG（５月 27 日）

主な議題は以下のとおりです。
1. 新記事型コンテンツ(案)について
2. 「3秒でえらべる家電の捨て方」のSEO対策･リスティング広告の状況報告
3. スケジュール･その他

◆第 43 回 製品アセスメント委員会（５月 21 日）

主な議題は以下のとおりです。
1. 前回議事要旨(案)確認
2. 2021 年度事業計画(案)について

＜RKC関連＞

◆第２回 ＳＹワーキング（５月 19 日）

主な検討、報告事項は以下のとおりです。
1. 2021 年度 SY ワーキング活動計画
   (1) 2021 年度活動計画について
2. 指定引取場所の業務削減･効率化
   (1) 郵便局券チェックの簡素化について、他
3. 指定引取場所の利便性向上
   (1) 新券の導入状況について、他
4. 指定引取場所の業務品質向上
   (1) 入力ミス削減の取組み、他
5. その他(災害対応自治体の引取実績、他)

＜認定センター関連＞

◆スマートマスター試験問題検討ワーキング（５月 14 日、31 日）

主な報告、審議事項は以下のとおりです。
1. ５月 14 日　キックオフ
   (1) 2021 年3月(第 40 回)試験の実施結果概要
   (2) 2021 年9月(第 41 回)試験に向けて
   (3) 2021 年9月(第 41 回)試験問題策定担当割
   (4) 2021 年9月(第 41 回)試験スマートマスター試験に関する具体的審議、試験問題策定方針の確認
2. ５月 31 日　第1回試験問題作成第1回ワーキング
   (1) 試験問題原案に関する審議

◆５月度 情報発信・教育部会（５月 24 日）

今後の試験問題･参考書などの作成スケジュールならびに、収集情報のポイントなどについて審議しました。
1. 第1部
   (1) 2021 年度　資格認定試験問題＆アドバイザー･エンジニア参考書･問題集作成スケジュール
   (2) スマートマスター参考書＆問題集発刊
   (3) 2021 年度部会スケジュール案
2. 第2部
   (1) ５月情報収集状況
   (2) ６月掲載「マイスタディ講座　ここが要点」

＜家電製品 PL センター関連＞

◆第 57 回 家電製品ＰＬセンター連絡会（５月 17 日）

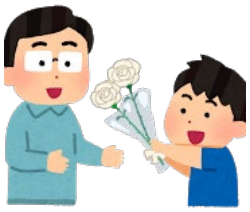
Web会議にて、当協会賛助会員である関係工業会との「家電製品PLセンター連絡会」を開催しました。
主な議題は下記のとおりです。

1. 2020 年度事業報告（案）及び決算（案）について
2. 2020 年度活動報告
3. 斡旋案件事例紹介
4. 工業会別製品別相談受付件数について
5. 2021 年度事業計画及び収支予算について

◆第 53 回 家電製品ＰＬセンター運営協議会（５月 27 日）

Web会議にて、学識者、消費者問題に精通した有識者、流通関係者、行政関係者、家電製品関連技術の専門知識を有する者で組織する「家電製品PLセンター運営協議会」を開催しました。
主な議題は下記のとおりです。

1. 会長及び会長代行者の選任について
2. 2020 年度事業報告（案）及び決算（案）について
3. 2020 年度活動報告
4. 斡旋案件事例紹介
5. 2021 年度事業計画及び収支予算について



■□■協会インフォメーション■□■

◆今後の行事予定

年	月　日	時　間	行　事	主な議題等	場　所
2021	6月22日(火)	15:00～16:30	第17回評議員会	2020年度 事業報告・決算報告 評議員・役員選任等	家製協 第1･2会議室 ＆インターネット会議
	6月23日(水)	書面決議	理事会	代表理事・副理事長選定	
	7月30日(金)	16:00～17:00	第36回運営委員会	各部門報告等	家製協 第1･2会議室 ＆インターネット会議
	11月30日(火)	16:00～17:00	第37回運営委員会	各部門報告等	家製協 第3･4会議室 ＆インターネット会議
2022	2月22日(火)	15:00～17:00	第38回運営委員会	理事会・評議員会事前説明、各部門報告等	家製協 第1･2会議室 ＆インターネット会議
	3月3日(木)	15:00～17:00	第19回理事会	2022年度 事業計画･収支予算等	家製協 第1･2会議室 ＆インターネット会議
	3月15日(火)	15:00～16:30	第18回評議員会	報告事項 （2022年度事業計画等）	家製協 第1･2会議室 ＆インターネット会議

◆人事異動

日　付	氏　名	新	旧
2021 年 5 月 31 日	吉田　洋	東芝ライフスタイル株式会社	認定センター　次長
2021 年 6 月 1 日		認定センター　次長 （嘱託職員採用）	東芝ライフスタイル株式会社

■□■　定点観測データ　■□■

◆家電リサイクル法対象４品目引取実績（５月度）

2021 年5月度の4品目の引取実績は、以下のとおりです。

（台数：千台）

品　目	当　月		年度累計	
	台数	前年比	台数	前年比
1.エアコン	359	113%	596	122%
2.テレビ　計	299	109%	612	115%
① ブラウン管式	69	80%	145	87%
② 液晶式・プラズマ式	230	122%	468	148%
3.冷蔵庫・冷凍庫	277	105%	558	110%
4.洗濯機・衣類乾燥機	342	109%	704	114%
合　計	1,277	109%	2,471	115%

（うち指定法人）　（台数：千台）

品　目	当　月		年度累計	
	台数	前年比	台数	前年比
1.エアコン	3	102%	5	107%
2.テレビ　計	21	112%	42	118%
① ブラウン管式	6	85%	13	91%
② 液晶式・プラズマ式	14	130%	29	135%
3.冷蔵庫・冷凍庫	23	109%	47	114%
4.洗濯機・衣類乾燥機	8	118%	17	125%
合　計	55	111%	111	117%

◆家電製品国内出荷額の月別・年度別推移データを更新

2021 年3月度実績と年間推移を、協会ホームページに掲載しました。
https://www.aeha.or.jp/about/pdf/shukkasuii202103.pdf

■□■　溜池ボイス　■□■

◆モノを大切する心

先月、イタリアで行われたテニスの国際試合で、某日本人選手のとった行為が話題になりました。5 月 12 日女子シングルスの 2 回戦、米国ジェシカ・ペグラ選手相手に思うようにプレーが出来ない第１セットの後半、ラケットをコートに何度も叩きつけて破壊するという一幕がありました。

この行為はテニス界、特にプロの試合では珍しくなく、帝王ジョコビッチ選手や錦織選手でさえ過去に同様のケースがあり、全米・全豪を制したマラト・サフィン選手などは、1999 年にラケット 48 本の破壊記録もあるほどで、「テニスあるある」の同情的意見がある一方で厳しい意見も多く、特に日本ではジュニア・キッズ世代からの「憧れの的」だけに、昨年全豪オープンでの「ラケット蹴飛ばし」もあり、親の間で「子供には見せたくない」行為として眉をひそめられました。

折しもその1か月前、ゴルフ界では松山英樹選手がマスターズ優勝という日本人（アジア人）初の快挙を成し遂げた時、キャディーの早藤将太さんがプレー終了後、コースへ「一礼」したことが世界中で称賛されただけに、同じ日本人としてのマナーの違いに大きく注目されました。

私は剣道をやりますが、常に「礼に始まり、礼に終わる」です。試合に負けたからと言って竹刀を叩き折るなど「言語道断」。そもそも刀は武士の魂です。10 年程前、ドイツ在住中に息子の剣道の試合に同行した時、あるドイツ人選手が敗けた後、外した防具を床に叩きつけるという光景を見ました。最近では海外でも剣道はさかんになってきましたが、「剣術」は教えられても、「剣道」を教えることは難しいようです。

> “バットの木は、自然が何十年も掛けて育てています。
>
> 僕のバットは、この自然の木から手作りで作られています。
> グローブも手作りの製品です。
>
> 一度バットを投げた時、非常に嫌な気持ちになりました。
> 自然を大切にし、作ってくれた人の気持ちを考えて、
> 僕はバットを投げることも、地面に叩きつけることもしません。
> プロとして道具を大事に扱うのは当然のことです。

かのイチロー選手は道具を大切にする事で有名で、こんな言葉を残しています。「モノに当たるくらいなら自分に当たれ」「あれだけのバットを作ってもらって打てなかったら自分の責任」と。そして、子供たちから「どうすれば野球が上手になるの？」と聞かれれば必ず、「道具を大切にすること」と答えるそうです。物に感謝し大切にする心、日本人の美徳として後世に伝えていきたいものですね。

◆◇◆◇◆――◆◇◆◇◆

本メールは一般財団法人家電製品協会の賛助会員の皆様に配信しています。
記載された内容を許可なく転載・複製することを禁じます。

【配信停止方法】
本メールの配信の停止をご希望される方は、会社（団体等）名、氏名及び「配信停止を希望する」旨を本メールの返信にてご連絡ください。

一般財団法人 家電製品協会
Association for Electric Home Appliances
〒100-0013　東京都千代田区霞が関 3-7-1　霞が関東急ビル 5 階　　代表　tel.03-6741-5600

◆◇◆◇◆――◆◇◆◇◆